

都立桜町高等学校 令和3年度 教科 国語 科目 国語総合 年間授業計画

教科：国語 科目：国語総合 単位数：4単位

対象学年組：第1学年A組～H組

教科担当者：現代文 A～H組 岩瀬・川上・鈴木 古典 A～H組 岩瀬・小杉・鈴木・安藤

使用教科書：（ 第一学習社『国語総合』 ）

使用教材：（ 第一学習社『新編国語便覧』 ）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	古文入門	・ 古文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ・ 五十音図と歴史的仮名遣いについて、確かな知識を持ち、現代仮名遣いに変換することができる。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出)	13～ 15
5月	宇治拾遺物語『児のそら寝』	・ 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 文語文と口語文の違いを理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出)	14～ 18
6月	竹取物語『かぐや姫のおひたち』	・ 古文独特の言葉遣いや文章のリズムを理解する。 ・ 「竹取物語」を原文で読むことにより古文に対する親近感を持たせる。 ・ 基本的な古語の意味や助動詞の使い方、敬語表現などについて理解させる。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	14～ 18
7月	古典文法	・ 品詞の種類について理解する。 ・ 活用概念について理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	13～ 15
8月				
9月	伊勢物語『芥川』	・ 歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・ 歌物語における和歌の役割を理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出物・発言)	13～ 15
10月	土佐日記『門出』	・ 日記文学としての「土佐日記」の位置付けを確認する。 ・ 作者の目線や心理状況について理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出物・発言)	14～ 18
11月	徒然草『丹波に出雲といふところあり』	・ 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・ 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出物・発言)	14～ 18
12月	徒然草『丹波に出雲といふところあり』	・ 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・ 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出物・発言)	13～ 15
1月	漢文入門	・ 漢文の学習・漢文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ・ 我が国の文化と外国の文化との関係に気づき、伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。 ・ 訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出物・発言)	14～ 18
2月	故事成語	・ 古代中国人の発想の面白さを知る。 ・ 漢文と現代の生活の密接な関係について理解する。 ・ 漢文訓読の基本事項について学習する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出物・発言)	14～ 18
3月	故事成語	・ 古代中国人の発想の面白さを知る。 ・ 漢文と現代の生活の密接な関係について理解する。 ・ 漢文訓読の基本事項について学習する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出物・発言)	13～ 15

都立桜町高等学校 令和3年度 教科 地理歴史 科目 地理A 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：地理A 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～H組

教科担当者：(A組：佐々木立) (B組：柴田昌) (C組：柴田昌) (D組：佐々木立) (E組：佐々木立) (F組：寺崎)
(G組：佐々木立) (H組：寺崎)

使用教科書：高等学校新地理A (帝国書院) 新詳高等学校地図 (帝国書院)

使用教材：四訂番 最新地理図表GEO (第一学習社)

	指導内容	科目 地理A の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	地球儀や地図からとらえる現代社会	経度・緯度の違い、時差の仕組みなど身近な話題に即し理解する。 地球を地図に置き換える様々な図法について考察する。 国家の領土・領空・領海にの範囲について理解する。 日本が抱える領土問題について考察する。	授業への取り組み状況・小テストの結果	6
5月	人々の生活と地形	地形を造る内的営力と外的営力の原動力や、その影響について理解する。 河川がつくる地形・海岸地形・氷河地形・乾燥地形など、それぞれの地域での土地利用と生活のかかわりについて理解する。	授業への取り組み状況・小テストの結果 定期試験到達度	6
6月	人々の生活と気候	気候が気温・降水量・風など気候要素により構成されたり、ケッペンの気候区分の分布と特徴を理解する。 熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯の各気候区分の特徴を理解する。	授業への取り組み状況・小テストの結果	8
7月	人々の生活と産業・文化	世界の農業地域や工業地域の発達過程や特徴について理解する。	授業への取り組み状況・小テストの結果 定期試験到達度	2
8月				
9月	世界の地誌について 中国・韓国の生活と文化	中国・韓国の自然環境、産業、国家としての課題、日本との交流などについて理解する。	授業への取り組み状況・小テストの結果	6
10月	世界の地誌について 東南アジア・インドの生活と文化	東南アジア諸国・インドとその周辺諸国の自然環境、産業、国家としての課題、日本との交流などについて理解する。	授業への取り組み状況・小テストの結果 定期試験到達度	6
11月	世界の地誌について 西アジア・イスラム諸国の生活と文化	西アジア諸国・その他中央アジア・北アフリカなど周辺イスラム諸国の自然環境、産業、国家としての課題、日本との交流などについて理解する。 産油国の石油資源開発について理解する。	授業への取り組み状況・小テストの結果	8
12月	世界の地誌について ヨーロッパの生活と文化	ヨーロッパ諸国の自然環境、産業、国家としての課題、日本との交流などについて理解する。	授業への取り組み状況・小テストの結果 定期試験到達度	4
1月	世界の地誌について 北米・中南米の生活と文化	北米(アメリカ合衆国・カナダ)及び中南米諸国の自然環境、産業、国家としての課題、日本との交流などについて理解する。	授業への取り組み状況・小テストの結果	4
2月	世界の地誌について オセアニアの生活と文化	サハラ以南のアフリカ及びオセアニア、ロシアとその周辺諸国の自然環境、産業、国家としての課題、日本との交流などについて理解する。	授業への取り組み状況・小テストの結果 定期試験到達度	6
3月	地球的課題について ①環境問題 ②エネルギー・資源問題 ③人口問題 ④食料問題	様々な社会問題を現状を説明しながら理解させる。	授業への取り組み状況・小テストの結果 定期試験到達度	2

桜町高等学校 令和3年度 教科数学 科目数学 I 年間授業計画

教科：数学 科目：数学 I 単位数：3単位

対象学年組：第1学年A組～H組

教科担当者：(A～H組：長友・渡邊直・水上・山田)

使用教科書：(新編数学 I 数研出版)

使用教材：(4プロセス 数学 I + A 数研出版・練習ドリル数学 I 標準編 数研出版)

	指導内容	科目数学 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	整式	単項式, 次数, 係数, 多項式, 項, 整式など, 式についての用語の意味を理解する。また, 特定の文字に着目することや, 同類項, 次数, 定数項によって整式を整理することなど, 式についていろいろな見方ができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	1
	整式の加法・減法・乗法	整式の加法・減法, 指数法則, 整式の乗法, 多項式の乗法公式など, 基本的な計算ができる。また, 式の一部を別の文字に置き換えるなどして, 見通しをもって能率よく展開することができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	3
	因数分解	乗法公式と関連させて, 因数分解の公式を利用することができる。また, 式を工夫する基本的な方法を身につけ, 能率よく因数分解することができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	3
5 月	実数	数を拡張することに興味をもち, 自然数, 整数, 有理数, 無理数, 実数の意味を理解する。また, 絶対値の定義をもとに, 絶対値記号を含む式の計算ができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	2
	根号を含む式の計算	根号を含む式の計算ができる。また, 分母の有理化について理解し, 基本的な計算ができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	3
	不等式の性質	不等式の意味を理解し, 数量の間の大小関係を不等式で表すことができる。また, 不等式の基本性質を理解する。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	1
	1次不等式	不等式の性質をもとに, 不等式の解と不等式を解くことの意味を理解する。また, 1次不等式を解くことができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題	2

	指導内容	科目数学 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月			提出課題 授業態度	
	1次不等式の応用	1次不等式を文章題に応用することができる。また、連立1次不等式を解くことができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	2
	集合	集合の包含関係、共通部分と和集合、空集合、補集合、ド・モルガンの法則を理解する。また、集合に関する記号の意味を理解し、適切に使うことができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	2
	命題と条件	命題と条件、必要条件、十分条件、必要十分条件の用語の定義を学び、さらに、図表示による包含関係と関連づけて理解する。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	2
7 月	論証	命題の逆、裏、対偶を理解する。また、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を習得するとともに論理的な思考力を養う。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	2
	関数	互いに関連しながら変化するものとして、関数の概念を基本的な用語とともに確認・理解し、関数を表す記号 $y=f(x)$ を自由に使うことができる。また、定義域・値域の用語の意味を理解する。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	1
8 月				
9 月	2次関数	中学校で学んだ2乗に比例する関数の性質を復習し、それをもとに2次関数について理解する。また、2次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し、そのグラフを利用できる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	6
	2次関数の最大・最小	2次関数の最大・最小について理解を深め、定義域に応じて、最大値や最小値を求めることができる。また、具体的な問題の解決に活用できる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	3
	2次関数の決定	2次関数のグラフについて与えられた条件から、その2次関数を決定できる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題	2

	指導内容	科目数学 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月			提出課題 授業態度	
	2次方程式	因数分解による解法や解の公式を用いて、2次方程式の解を求めることができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	2
	2次方程式の実数解の個数	2次方程式の実数解の個数と判別式 $D=b^2-4ac$ の符号との関係を理解する。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	1
	2次関数のグラフとx軸の共有点	2次関数のグラフとx軸の共有点と判別式Dの符号との関係を理解する。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	3
	2次不等式	2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係から、2次不等式の解の意味を理解し、その解を求めることができる。また、グラフを活用することのよさを認識する。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	4
11 月	2次不等式の応用	2次不等式を含む連立不等式を解くことができる。また、具体的な問題の解決に2次不等式を活用できる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	2
	直角三角形と三角比	三角比としての正接, 正弦, 余弦の意味を理解し, 30° , 45° , 60° の正接, 正弦, 余弦の値を求めることができる。また, 三角比の表を利用できる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	2
	直角三角形の辺と角	三角比を用いて, 直角三角形のある辺の長さから他の1辺の長さを求めたり, 三角比を具体的な問題の解決に活用したりすることができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	1
	三角比の相互関係	三角比の相互関係について興味をもち, 理解する。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	2
	三角比と座標	鈍角や 0° , 90° , 180° まで拡張した三角比の定義を理解する。	関・知・技・見 小テスト 提出課題	2

	指導内容	科目数学 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月			提出課題 授業態度	
	三角比の性質	三角比の相互関係について理解を深め、それらを活用できる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	3
1 月	正弦定理	三角形の辺と角の間の基本的な関係として正弦定理を理解し、活用できる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	2
	余弦定理	余弦定理を理解し、三角形の辺と角の間の関係について理解を深める。また、既知の辺や角から残りの辺や角を求めることができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	3
	三角形の面積	条件に応じて正弦定理や余弦定理を活用し、三角形の面積を求めることができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	1
	空間図形の計量	三角比を空間図形の計量に応用できる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	1
2 月	データの整理	データの特徴や傾向をとらえるために、データを整理することのよさを認識し、データを度数分布表やヒストグラムを用いて表すことができる。また、相対度数を求めることができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	1
	データの代表値	データの特徴を1つの数値で表すことの実用性を認識し、平均値、中央値、最頻値について理解する。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	1
3	データの散らばり	四分位数、範囲、四分位範囲、四分位偏差を理解し、箱ひげ図を用いてデータの分布を視覚的にとらえることができる。また、散らばり具合を数値で表すための方法として、偏差、分散、標準偏差を理解し、データをもとにそれらを求めることができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	3
	相関関係	2つの変量の組を座標とする散布図をつくり、2つの変量の相関をとらえることができ	関・知・技・見 小テスト 提出課題	1

	指導内容	科目数学 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
月		る。	提出課題 授業態度	
	相関係数	相関関係を1つの数値として表す方法として、相関係数を理解する。また、相関係数を求め、2つの変量の相関をとらえることができる。	関・知・技・見 小テスト 提出課題 授業態度	2

都立桜町高等学校 令和3年度 教科 数学 科目 数学A 年間授業計画

教科：数学 科目：数学A 単位数：2単位

対象学年組：（第1学年A組～H組）

教科担当者：（ABEF組：水上）（DH組：山田）（C組：池浦）（G組：後藤）

使用教科書：（数研出版「新編数学A 改訂版」）

使用教材：（数研出版「4プロセス 数学I+A 改訂版」 数研出版「練習ドリル 数学A」）

	指導内容	科目 数学Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第1章 場合の数 順列	場合の数における、和の法則と積の法則の意味と内容を理解する。 順列の記号の定義と意味を理解する。	関・見・技・知 授業態度・小テスト・課題提出	5
5月	順列 組み合わせ	順列の考え方を応用できるようになる。 組み合わせの記号の定義と意味を理解する。 組み合わせの考え方を応用できるようになる。	関・見・技・知 授業態度・テスト・課題提出	6
6月	確率	確率の定義と言葉を理解する。 余事象とその確率、独立な試行の確率など、様々な事象の確率について理解する。	関・見・技・知 授業態度・小テスト・課題提出	8
7月	確率	反復試行の確率、条件付き確率、また確率の情報定理について理解し、応用できるようになる。	関・見・技・知 授業態度・テスト・課題提出	4
8月				
9月	第2章 約数と倍数	約数と倍数について理解する。 倍数の判定法、素因数分解について理解し、活用できるようになる。	関・見・技・知 授業態度・小テスト・課題提出	6
10月	整数の割り算と商・余り ユークリッドの互除法	整数の割り算における商と余りや、合同式について理解する。 ユークリッドの互除法について理解し、活用できるようになる。	関・見・技・知 授業態度・テスト・課題提出	8
11月	1次不定方程式 分数と小数	1次不定方程式の整数解を求めることができる。 分数と有限小数、循環小数について理解する。	関・見・技・知 授業態度・小テスト・課題提出	8
12月	n進法	n進法、艇の変換について理解する。	関・見・技・知 授業態度・テスト・課題提出	4
1月	第3章 三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心 チェバの定理・メネラウスの定理	線分の比と角の二等分線について理解する。 三角形の内心・外心・重心について理解する。 チェバの定理、メネラウスの定理について理解し、活用することができる。	関・見・技・知 授業態度・小テスト・課題提出	6
2月	円に内接する四角形 円と直線 2つの円	円に内接する四角形、円と接線、方べきの定理について理解する。 2つの円の位置関係、共通接線について理解する。	関・見・技・知 授業態度・小テスト・課題提出	8
3月	直線と平面 空間図形と多面体 作図	2直線・直線と平面・2平面の位置関係について理解する。 正多面体から切り取った立体について正確に考察することができる。 線分の内分点・外分点・いろいろな長さの線分の作図をすることができる。	関・見・技・知 授業態度・テスト・課題提出	4

桜町高等学校 令和3年度(2021) 理科・生物基礎 年間授業計画

教 科：理科 科目：生物基礎 単位数：2単位

対象学年組：第1学年(必修)

教科担当者：(A組：早崎) (B組：菅野) (C組：早崎) (D組：早崎) (E組：早崎) (F組：早崎) (G組：菅野) (H組：早崎)

使用教科書：(改訂版 新編生物基礎 数研出版)

使用教材：(改訂版 新編生物基礎準拠ノート・まとめと問題 数研出版)

	指導内容	科目・生物基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	(1) 生物と遺伝子 ア 生物の特徴 (ア) 生物の共通性と多様性 生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 生物の共通性と多様性の具体例を挙げることができる。 原核生物と真核生物の大きさと構造上の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト ワークシート(実験観察等) 	6
5月	(イ) 細胞とエネルギー 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> ATPでエネルギーが入り出す仕組みについて理解する。 酵素の触媒としての働きを理解する。 呼吸と光合成の反応過程における物質の出入りとATP合成を理解する。 ミトコンドリアと葉緑体が細胞内共生によるものであることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト ワークシート(実験観察等) 	8
6月	イ 遺伝子とその働き (ア) 遺伝情報とDNA 遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> DNAの塩基配列が遺伝情報になることを理解する。 ヌクレオチドの構造とDNAの塩基の相補性について理解する。 遺伝子とゲノムの関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト ワークシート(実験観察等) 	8
7月	(イ) 遺伝情報の分配 DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 細胞周期はDNAの複製と分配の繰り返しであることを理解する。 体細胞分裂時に染色体が分離することで、DNAが均等に娘細胞に分配されることを理解する。 遺伝情報の転写と翻訳を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト ワークシート(実験観察等) 	4
8月				
9月	(ウ) 遺伝情報とタンパク質の合成 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解すること。 (2) 生物の体内環境の維持 ア 生物の体内環境 (ア) 体内環境 体内環境が保たれていることを理解する	<ul style="list-style-type: none"> 生体内で働くタンパク質の例を挙げ、多様な生命現象を支えていることを理解する。 細胞によって働いている遺伝子が異なることを理解する。 血液・リンパ液・組織液は常に循環・移動し、互いに関係しながら体内環境を一定の状態に保っていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト ワークシート(実験観察等) 	6
10月	(イ) 体内環境の維持の仕組み 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 交感神経・副交感神経の違いについて理解する。 ホルモンによる調節の仕組みを理解する。 自律神経系と内分泌系(ホルモン)がともに働くことにより、血糖濃度が調節されていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト ワークシート(実験観察等) 	8
11月	(ウ) 免疫 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 体液性免疫と細胞性免疫での細胞の働きについて理解する。 予防接種と血清療法の違いについて理解する。 アレルギーやエイズの発症する仕組みについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト ワークシート(実験観察等) 	8
12月	(3) 生物の多様性と生態系 ア 植生の多様性と分布 (ア) 植生と遷移 陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 植生の違いは、光や土壌、気温、降水量などの要因によることを理解する。 遷移のモデル的過程を具体的な種名とともに理解する。 土壌形成などの生物の環境形成作用が遷移と深く関係していることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト ワークシート(実験観察等) 	6
1月	(イ) 気候とバイオーム 気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 地球上には気温と降水量に応じて様々なバイオームが存在していることを理解する。 世界のバイオームの特徴を具体的な種名とともに理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト ワークシート(実験観察等) 	6
2月	イ 生態系とその保全 (ア) 生態系と物質循環 生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解すること。	<ul style="list-style-type: none"> 生態系では、光合成・呼吸・食物連鎖・有機物の分解作用などの生命活動によって炭素や窒素が循環し、再利用されていることを理解する。 生態系で生物が利用するエネルギーの大部分は、太陽の光エネルギーに由来することを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト ワークシート(実験観察等) 	6
3月	(イ) 生態系のバランスと保全 生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識すること。	<ul style="list-style-type: none"> 生態系のバランスを維持する仕組みがあることを理解する。 外来生物の移入や森林の乱伐など人間の活動によって生態系が攪乱された例を理解し、生態系の保全の重要性を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 小テスト ワークシート(実験観察等) 	4

東京都立桜町高等学校 令和3年度 体育 年間授業計画

教科:(保健体育)科目:(体育) 対象:(第1学年女子 A組~H組) 単位数:3単位

教科担当者:(A~H組 高山 村田 久保)

使用教科書:現代高等保健体育(大修館書店)

使用教材:現代保健ノート(大修館書店) アクティブスポーツ2021

	指導内容 【年間授業計画】	体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
4月	ニュースポーツ	アルティメット	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
	球技：バレーボール	・基礎的技術の獲得 (パス、レシーブ、アタック)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
	ダンス	基本技術の習得 (柔軟性を高め、体の可動域を広げる)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
5月	ニュースポーツ	アルティメット	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
	球技：バレーボール	・集団的技術の獲得 ・オープンスキルへの対応 (円陣パス、パスゲーム、フォーメーション)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
	ダンス	基本的技術の習得 (体の使い方、緊張、緩急、強弱)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
6月	水泳	クロール	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
	球技：バレーボール	ゲーム中に必要な知識と技術の獲得 リーグ戦	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	4
	スポーツテスト	スポーツテスト全種目	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	4
	ダンス	演技テスト	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
7月	水泳	ブレスト	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
	球技：バレーボール	ゲーム中に必要な知識と技術の獲得 リーグ戦	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
	ダンス	手具を使って技の獲得 (投げる、跳ぶ、回す、転がす)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
8月				

	指導内容 【年間授業計画】	体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
9月	水泳	タイム計測	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	6
10月	器械運動：マット	基本的技能の獲得（前回り・後ろ周り等）	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
	球技：ソフトボール	基礎的技術の獲得（投げる、とる、打つ） ルール理解 簡易ゲームができる	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
	ダンス	手具を使って連続技の獲得 （投げるから跳ぶ、回すから転がすなどリズムに合わせて一連の流れ）	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
11月	器械運動：マット	発展的技術の獲得（倒立前転・伸脚後転等）	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	4
	球技：ソフトボール	基礎的技術をゲームの中で活用できる 戦術を理解してゲームを楽しむ	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	4
	ダンス	演技テスト	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
	陸上競技：長距離走	有酸素運動による心肺機能の向上 持久系筋力の向上	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
12月	器械運動：マット	技能テスト	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
	球技：ソフトボール	基礎的技術をゲームの中で活用できる 戦術を理解してゲームを楽しむ	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
	陸上競技：長距離走	有酸素運動による心肺機能の向上 持久系筋力の向上	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
1月	陸上競技：長距離走	有酸素運動による心肺機能の向上 持久系筋力の向上	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	6
2月	陸上競技：長距離走	有酸素運動による心肺機能の向上 持久系筋力の向上	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	6
	ニュースポーツ：縄跳び	縄跳びの基礎的技術の獲得 持久系筋力の向上	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	6
3月	ニュースポーツ：縄跳び	縄跳びの基礎的技術の獲得 持久系筋力の向上	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	6

東京都立桜町高等学校 令和3年度 体育 年間授業計画

教科:(保健体育)科目:(体育) 対象:(第1学年男子 A組~H組) 単位数:3単位

教科担当者:(A~H組 高山 村田 久保)

使用教科書:現代高等保健体育(大修館書店)

使用教材:現代保健ノート(大修館書店) アクティブスポーツ2021

	指導内容 【年間授業計画】	体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
4月	ニュースポーツ	アルティメット	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
	球技：バレーボール	・基礎的技能の獲得 (パス、レシーブ、アタック)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
	格技：柔道	受身(後ろ受身)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
5月	ニュースポーツ	アルティメット	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
	球技：バレーボール	・集団的技能の獲得 ・オープンスキルへの対応 (円陣パス、パスゲーム、フォーメーション)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
	格技：柔道	受身(横受身)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
6月	水泳	泳法別技術練習 (クロール、平泳ぎの泳法の習得)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
	球技：バレーボール	ゲーム中に必要な知識と技術の獲得 リーグ戦	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	4
	スポーツテスト	スポーツテスト全種目	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	4
	格技：柔道	受身(前受身)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
7月	水泳	泳法別泳力練習 (クロール、平泳ぎの長距離泳)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
	球技：バレーボール	ゲーム中に必要な知識と技術の獲得 リーグ戦	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
	格技：柔道	受身(前回り受身)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
8月				

	指導内容 【年間授業計画】	体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
9月	水泳	タイム測定(クロール、平泳ぎ)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	6
10月	器械運動：マット	基本的技術の習得(基礎感覚を身に付ける)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
	球技：ソフトボール	基礎的技術の獲得(投げる、とる、打つ) ルール理解 簡易ゲームができる	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
	格技：柔道	受身(前回り受身)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	3
11月	器械運動：マット	基本的技術の習得(マット上で転回、倒立、バランス技)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	4
	球技：ソフトボール	基礎的技術をゲームの中で活用できる 戦術を理解してゲームを楽しめる	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	4
	格技：柔道	投げ技(体落とし等)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
	陸上競技：長距離走	有酸素運動による心肺機能の向上 持久系筋力の向上	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
12月	器械運動：マット	実技発表(円滑な連続技)	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
	球技：ソフトボール	基礎的技術をゲームの中で活用できる 戦術を理解してゲームを楽しめる	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
	陸上競技：長距離走	有酸素運動による心肺機能の向上 持久系筋力の向上	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	2
1月	陸上競技：長距離走	有酸素運動による心肺機能の向上 持久系筋力の向上	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	6
2月	陸上競技：長距離走	有酸素運動による心肺機能の向上 持久系筋力の向上	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	6
	ニュースポーツ：縄跳び	縄跳びの基礎的技術の獲得 持久系権力の向上	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	6
3月	ニュースポーツ：縄跳び	縄跳びの基礎的技術の獲得 持久系権力の向上	・関心、意欲、態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	6

東京都立桜町高等学校 令和3年度 保健 年間授業計画

教科:(保健体育)科目:(保健) 対象:(第1学年 A組~H組) 単位数:1単位

教科担当者:(A村田 B高山 C高山 D高山 E久保 F村田 G久保 H久保)

使用教科書:現代高等保健体育(大修館書店)

使用教材:現代保健ノート(大修館書店)

	指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
4月	オリエンテーション	1年間の予定 評価方法の確認	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	1
	私たちの健康のすがた	健康のすがたを正しく捉え、生涯を通じた健康づくりを進めていくためのスキルを、質問の投げかけ等を含むディスカッション形式で身につけさせる。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	1
	健康のとらえ方	数多くの具体例を提示して、健康とは何か、という大きなテーマに対する意見を各自に明確に抱かせる。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	1
5月	健康と意思決定・行動選択	ロールプレイングを活用し、生涯を通じた健康づくりに向けた意思決定・行動選択を正しく行えるようにさせる	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	1
	健康に関する環境づくり	社会で行われている健康づくりの取り組みを知り、そこに自らが関わっていく方法を考えさせ、意思の確立を目指す。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	1
	生活習慣病とその予防	生活習慣病の実態を知り、予防方法を含め、私生活にどのような改善点があるのかをディスカッション形式で考えさせる。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート、小テスト	2
6月	食事と健康	1週間の食事の実態を各自が見返し、良い点・悪い点を把握し、今後の食生活への見直しができるようにする。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート、小テスト	1
	運動と健康	健康づくりにおける運動の意義を知り、生涯スポーツ等の習慣的な運動の私生活への取り入れ方法を知り、計画を練る。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート、レポート	2
	休養・睡眠と健康	休養や睡眠のメカニズムを知り、各自の1日の生活を抜粋して、質の高い休養や睡眠のとり方を考える。	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート、レポート	1
7月	期末考査	1学期期末考査	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 期末考査	1
	期末考査まとめ	期末考査から見られた課題の確認	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 期末考査	1
	1学期の復習	1学期の総復習	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 期末考査	1
8月				

	指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
9月	喫煙と健康	喫煙による健康被害、喫煙が世界的に大きな問題として捉えられている理由を知り、考察する	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	2
	飲酒と健康	飲酒による健康被害、飲酒の良さ・悪さを知り、飲酒の善悪について考察する	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	2
10月	薬物乱用と健康	薬物による健康被害、身近な問題であることを知り、被害拡大を防ぐためにできることを考察する	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	2
	感染症の予防	感染症の原理や被害拡大の原因を探り、感染予防策を考える	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート、レポート	2
11月	性感染症・エイズとその予防	性感染症・エイズの特徴、特異性を知り、予防策を考える	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	2
	欲求と適応機制	心の安寧のために自然と反応している適応機制などを知り、自分と照らし合わせ、自らを振り返る	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	2
12月	期末考査	2学期期末考査	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 期末考査	1
	期末考査まとめ	期末考査から見られた課題の確認	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 期末考査	1
	2学期の復習	2学期の総復習	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 期末考査	1
1月	心身の相関とストレス	心と身体の関係性を知り、心の健康・体の健康について考える	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	2
	ストレスへの対処	ストレス対処法の例から、自らに合ったストレス解消法を考える	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	1
2月	心の健康と自己実現	自己実現に向けた思考方法、自己実現への進め方を知り、自らのライフプランを計画する	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	1
	交通事故の現状と要因	交通事項の現状から、自らに密接する事故、その原因を考える	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	1
	交通社会における運転者の資質と責任	自動車および二輪車の危険性を知り、運転者に必要とされる資質を考える	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	1
	安全な交通社会づくり	安全な交通社会づくりに必要な対策を、実際に講じられている対策を知り、また新たに何ができるか考える	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	1
3月	学年末考査	学年末考査	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 期末考査	1
	学年末考査まとめ	学年末考査まとめ	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 期末考査	1
	1年間の走まとめ	1年間の反省と総復習	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ノート	1

都立桜町高等学校 令和3年度 教科 芸術 科目 音楽 I 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～H組

教科担当者：(A組～H組 池本 早織)

使用教科書：(Tutti 1 (教育出版))

使用教材：()

指導内容		科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・腹式呼吸の特徴をつかみ、歌うときの姿勢を身につける。 ・歌唱に必要な発声を身につける。 ・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 ・譜読に必要な基本的音楽知識（音符、休符、拍子）について学ぶ。 ・ギターの基礎（構え方、各部の名称、弾き方）を学ぶ。 ・音楽作品を鑑賞し、音楽の諸要素を感じ取り自らの意見とその根拠を分析し表現する。 	<p>【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心）</p> <p>授業内で実施する歌唱試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術）</p> <p>【評価】 授業態度 実技テスト</p>	24
5月	器楽			
6月	鑑賞			
7月				
8月				
9月	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のパートに分かれて歌う。（三部合唱） ・譜読ができる。（楽譜をみて演奏できているか） ・自分の担当する内容を、よく練習し、演奏出来ているか。 ・合唱、アンサンブルの楽しさを味わう。 ・ギターでメロディー奏、コード弾き語り、アンサンブルをする。 	<p>【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心）</p> <p>授業内で実施する歌唱・器楽の実技試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術）</p> <p>【評価】 授業態度 筆記小テスト</p>	30
10月	器楽			
11月	鑑賞			
12月	創作			
	楽典			
1月	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・グループによる演奏発表（呼吸や姿勢を意識して表現しているか。） ・これまでの学習を通し学んだことをいかして演奏しようとしているか。 ・グループ活動において、仲間と協力して練習に取り組んでいるか。 ・サウンドスケープ、環境音楽について考える。 ・「音楽」とは何か、考える。 	<p>【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心）</p> <p>授業内で実施する歌唱試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術）</p> <p>【評価】 授業態度</p>	16
2月	器楽			
3月	鑑賞			
	創作 楽典			

都立桜町高等学校 令和3年度 教科 芸術 科目美術1 年間授業計画

教科：芸術科 目：美術1 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～H組

教科担当者：水田 泉

使用教科書：(日文 (高校生の美術1)

使用教材：()

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	(1)オリエンテーション『美術とは何か』	(1)『美術とはなにか』鑑賞を通じて、美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付ける取り組み方について学習する。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	2
	(2)『模写』	(2)『模写』鑑賞の能力を養い、感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫への理解や見方を深める。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	6
5月	(3)『名前のデザイン』	(3)『名前のデザイン』レタリングの目的を理解し、発想やアイデアを楽しく人に伝えることを学習する。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	8
6月	(4)『PRキャラクター立体制作』	(4)『PRキャラクター立体』広告デザインに用いられるキャラクターについて理解し、オリジナルのPRキャラクターを立体で制作する。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	8
7月	(5)『鑑賞会』	(5)作品の展示と鑑賞を通じて、個々の作品の中から創意工夫されたアイデアについて話し合う。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	4
8月				
9月	(6)『学校の風景』	(6)『学校の風景』遠近法の歴史について学習し、校内の風景を自由に描く。視点の工夫や色彩の使い方などを工夫をこらし、自分らしい作品制作をめざす。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	8
10月	(7)『アニメーションの原理について』	(7)『アニメーションの原理について』アニメーションの原理と美術表現の関係性について学び、フェナキストスコープを自主制作する。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	8
11月	(8)『ポスター制作』	(8)『ポスター制作』参考作品の鑑賞を通じて、身近な広告がどのような目的でつくられているかを理解し、学校の紹介などを目的とするポスターを制作する。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	8
12月	(9)『鑑賞会』	(9)作品の展示と鑑賞を通じて、個々の作品の中から創意工夫されたアイデアについて話し合う。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	4
1月	(10)『動物をモチーフに』	(10)『動物デッサン』動物をモチーフに形体や質感など動物の特徴をつかんで表現する力を育てる。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	8
2月	(11)『プロダクトデザイン』	(11)『プロダクトデザイン』デザインの歴史についてリサーチし、各自、自由なテーマでマイバックを制作する。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	8
3月	(12)『鑑賞会と作品返却』	(12)『鑑賞会と作品返却』1年間の授業の課題を振り返り、美術全般への理解や見方、関心を深める力を養う。作品の展示と鑑賞を通じて、個々の作品の中から創意工夫されたアイデアについて話し合い、鑑賞後は、各自へ作品を返却する。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	4

都立桜町高等学校 令和3年度 教科 芸術 科目 書道 I 年間授業計画

教科 科：芸術 科目：書道 I 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A, B, C, D, G, H組

教科担当者：(A, B, C, D, G, H組：林 徳子)

使用教科書：(書道 I (教育図書))

使用教材：()

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	道具の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・用具について ・芸術表現としての書について考える 	筆の扱いや姿勢など、書を学ぶ上で必要な基本的な知識を得て、理解し、活用できているか 毎時間の提出物 授業態度 (重要)	24
5月	楷書			
6月				
7月				
8月				
9月	行書	<ul style="list-style-type: none"> ・蘭亭序を臨書し、行書の仕組み筆法など基礎を学ぶ ・仮名の古典をもとに基礎を学ぶ 	楷書とは異なる行書の特色を理解しながら、筆法を学ぼうとしているか 毎時間の提出物 授業態度 (重要)	30
10月	仮名			
11月	漢字仮名交じり			
12月				
1月				
2月	漢字仮名交じりから創作へ	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名と漢字の調和を学び、創作へと発展させる ・仮名への理解、創作の喜びを共有する 	毎時間の提出物 授業態度 (重要)	16
3月				

都立桜町高等学校 令和3年度 教科 外国語 科目 コミュニケーション英語Ⅰ 年間授業計画

教科：外国語 科目：コミュニケーション英語Ⅰ 単位数：4単位

対象学年組：第1学年A組～H組

教科担当者：(AB組：増坪・安岡・渡邊) (CD組：柴田・安岡・渡邊) (EF組：柴田・安岡・渡邊) (GH組：柴田・増坪・安岡)

使用教科書：(Grove English CommunicationⅠ)

使用教材：(Grove English CommunicationⅠ work book, Database3000, Listening Laboratory Basicβ, Jet Reading, Pair and Share1)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	LESSON1 Omotenashi: The Spirit of Japan	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもてなし」をめぐるほかの国の状況などについて読む。 ・文型(第1～4文型) ・現在・過去・未来/主語と述部を理解する。 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	8
5月	LESSON2 Why is That So?	<ul style="list-style-type: none"> ・冠詞(形容詞)＋名詞 ・to不定詞/動名詞 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	13
6月	LESSON2 Why is That So?	<ul style="list-style-type: none"> ・冠詞(形容詞)＋名詞 ・to不定詞/動名詞 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	14
7月	LESSON3 The Bento Goes International	<ul style="list-style-type: none"> ・進行形 ・SV00/SVOC 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	5
8月				
9月	LESSON4 Owen and Mzee: An Amazing Friendship	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形 ・SVO ・過去完了形 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	11
10月	LESSON5 The Impossible Is Possible	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞の形容詞的用法 ・to不定詞(形容詞的用法) ・受け身 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	13
11月	LESSON6 Eric Carle: How He Creates His Art	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 ・To不定詞(副詞的用法) ・関係代名詞WHAT 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	17
12月	LESSON7 The Netherlands- Living with Water	<ul style="list-style-type: none"> ・比較 ・It is for～ to不定詞 ・SVO to 不定詞 ・SV00(that節) 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	7
1月	LESSON8 Collective Intelligence	<ul style="list-style-type: none"> ・SVO(疑問詞) ・SVOC(現在分詞) ・SVOC(原型不定詞) ・It is 形容詞(名詞)that節 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	15
2月	LESSON9 Billion	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了進行形 ・関係副詞 ・助動詞を含む受け身 ・仮定法過去 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	17
3月	LESSON10 One Child, One Teacher, One Book and One Pen	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去完了 ・分詞構文 ・SV00(疑問詞節) ・強調構文 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	6

都立桜町高等学校 令和3年度 教科 外国語 科目 英語表現 I 年間授業計画

教科：外国語 科目：英語表現 I 単位数： 2単位

対象学年組： 第1学年A組～H組

教科担当者： (A組：柴田) (B組：常定) (C組：渡邊) (D組：柴田) (E組：渡邊) (F組：常定) (G組：小西) (H組：小西)

使用教科書： (Vision Quest English Expression I Standard)

使用教材： (Vision Quest English Expression I Standard WORKBOOK Vision Quest総合英語)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	Lesson1, 2	文の種類・5文型と動詞	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	4
5月	Lesson2, 3	5文型と動詞・時制	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	5
6月	Lesson3, 4	時制・完了形	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	7
7月	Lesson5	助動詞	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	3
8月				
9月	Lesson6	受動態	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	5
10月	Lesson7, 8	不定詞・動名詞	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	6
11月	Lesson9	分詞	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	8
12月	Lesson10	関係詞	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	5
1月	Lesson11	比較	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	6
2月	Lesson12	仮定法	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	7
3月	Follow-Up1-5	修飾語・準動詞まとめ・否定表現・接続詞	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	4

都立桜町高等学校 令和3年度 教科家庭科目家庭基礎 年間授業計画

教科：家庭 科目：家庭基礎 単位数：2単位

対象学年組：（第1学年A組～H組）

教科担当者：（A組：高橋）（B組：高橋）（C組：高橋）（D組：高橋）（E組：高橋）（F組：栗山）（G組：栗山）（H組：高橋）

使用教科書：（東京書籍 家庭基礎）

使用教材：（第一学習社 生活ハンドブック 家庭 資料&成分表）

	指導内容	科目家庭基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション 自分らしい生き方と家族 今の自分をみつめる 青年期の生き方について考える	<ul style="list-style-type: none"> 生活を主体的につくるために必要な力を考え、学習するうえでの目的意識をもつ。 「家庭基礎」の学習の意義や内容、ノート書き方など学習の方法、評価の方法を理解する。 自分自身についてみつめ、自己理解を深める。 青年期の生き方について、自立の観点から学習する。 		4
5月	人生90年を見通す 労働について考える 共に働くことを考える 家族って何だろう	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージごとの発達課題や、ライフイベントについて理解する。 自分の適性について考え、近い将来のイメージづくりをする。 職業につく意義や多様化する就業形態について理解する。 男女共同参画社会における自分の生き方について考える。 夫婦共働きが増えている状況、それを支える社会的支援の必要性を理解する。 さまざまな結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 		6
6月	家族に関する法律の理念と背景 家族にかかわる法律 現代の家族をとりまくことから 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 憲法や民法など、家族に関する法律について学ぶ。 戦前、戦後から現在までの民法改正の動きについて理解する。 時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。 衣服の機能について、自然環境や社会環境とのかかわりを学習する。 		8
7月	人と衣服のかかわり 被服製作	<ul style="list-style-type: none"> 衣類の素材には、どのような特徴があるのかを学習する。 調理実習時に使う布巾を手縫いで製作する。日本の伝統的手芸、刺し子を取り入れ、潤いある生活の工夫をする。 	試験 作品 提出物	4
8月				
9月	食生活をつくる 私たちの食生活と健康 食品の衛生 調理実習①（中華献立）	<ul style="list-style-type: none"> 食事調査を通して、各自の食生活の問題点について考える。 食事は単に食べるだけではなく、楽しんで食べる等の食事の意義について学習する。 食中毒の種類を学び、衛生的な管理に結びつける。 調理の流れ、調理操作を学び、調理技術を習得する。 		4
10月	食を楽しむ 食品の栄養素とからだの成分 食品の選択と表示 調理実習②（洋風献立）	<ul style="list-style-type: none"> 栄養素の種類と働き、からだでの働きについての基礎的知識を習得する。 食品の旬や選択する際のポイント、食品の品質表示について学ぶ。 味に大きな影響を及ぼす調味料や香辛料、さまざまな加工食品について学ぶ。 食文化の歴史に関心を持ち、それを大切にしたい気持ちを持つ。 		8
11月	食料自給率と食品の安全性 食生活と環境とのかかわり 調理実習③（和風献立）	<ul style="list-style-type: none"> 普段食べている食品がどこで生産されているのかを考え、日本の食料自給率の低さからくる問題点等について学ぶ。 環境に配慮した食生活とは何かを学び、実践する。 和風献立の調理を通して、一汁三菜について学ぶ。 		8
12月	子どもとかかわる 子どもを知る 青年期の健康と生命の芽ばえ 親になることを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの世界と出合うことによって、自己理解を深める。 青年期の健康が将来の生まれてくる子どもにつながっていることを知り、育てる力について学ぶ。 	試験 提出物	4
1月	高齢者とかかわる 高齢社会に生きる私たちの暮らし 豊かな高齢期を支えるしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 高齢社会の現状と課題について学習する。 高齢社会を社会全体で支えるしくみを理解する。 生命保険文化センターの講師によるライフプランに関する講義を聞き、高齢社会の生活設計を考える。 		4
2月	住生活をつくる 人と住まいのかかわり 住空間の成り立ちと平面計画 これからの住まいを考える	<ul style="list-style-type: none"> 快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音、冷暖房などの要素を学習する。 平面図の読み取りができるようにする。 家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境について理解する。 		8
3月	消費行動を考える 消費者の権利と責任 循環型社会をいかに構築するか	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの必要性を理解する。 	試験 提出物	4

都立桜町高等学校 令和3年度 教科 情報 科目 社会と情報 年間授業計画

教科：情報 科目：社会と情報 単位数：2単位

対象学年組：第1学年A組～H組

教科担当者：小倉 博喜

使用教科書：「最新社会と情報」新訂版 実教出版

使用教材：プリント等

	指導内容	科目社会と情報の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1章 情報社会と私たち 1 情報社会と情報 2 情報化の光と影	<ul style="list-style-type: none"> 情報や知識についての意味を理解させる。 情報のデジタル化によるコミュニケーションの変化を理解させる。 情報化が人類に利益と幸福をもたらしていることについて理解させる。 情報化の「影」について、高校生に身近な事例で理解させる。 	提出課題と授業時の状況による。	4
5月	1 情報の特徴 2 メディアの特徴 3 メディアリテラシー	<ul style="list-style-type: none"> 情報社会における情報の特徴について理解する。 情報とメディアの関係、メディアの分類を理解する。 各表現メディアの特性について理解する。 マスメディアやインターネット等、情報メディアの特性を理解する。 記録メディア、通信メディアなど伝達メディアの特性を理解する。 情報の信憑性、信頼性について理解する。 メディアリテラシーの意味を理解する。 CMなどメディアから受け取る情報を分析して発信者の意図を理解する。 情報伝達における適切なメディアの選択について理解する。 	提出課題と授業時の状況による。	6
6月	1 個人に関する情報の管理と保護 2 情報を扱う責任とモラル 3 知的創作活動による知識創出と社会での活用	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の意味と個人情報保護法について理解する。 個人情報の漏洩の実態、防止対策について学ぶ。 メールやSNSを利用する際のモラルとマナーについて学ぶ。 有害サイトやチェーンメール、特にスマートフォン利用の注意点を理解する。 知的財産権の構成について理解する。 産業財産権の種類と内容について事例を通じて理解する。 著作権の構成と各権利の内容、及び例外規定について理解する。 著作権の侵害事例について理解し、著作権法を守る態度を身に付ける。 	実技試験と提出課題及び授業時の状況による。	8
7月	情報技術の練習	<ul style="list-style-type: none"> ワープロソフトを使用した課題作成 	定期考査の結果と提出課題による。	4
8月				
9月	2章 情報機器とデジタル表現 1 情報機器 2 アナログとデジタル 3 2進数と情報量 4 数値・文字の表現	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器の種類と特徴、インタフェースについて学ぶ。 デジタルカメラの原理や画像・映像の処理について学ぶ。 アナログとデジタルの意味について理解する。 デジタル化のメリットについて理解する。 情報量の概念と単位について理解する。 	提出課題と授業時の状況による。	6
10月	5 音声の表現 6 画像の表現 7 情報のデータ量	<ul style="list-style-type: none"> 音声の標本化、量子化、符号化について理解する。 周波数と周期の関係や、標本化定理について理解する。 デジタルでのカラー表現の原理について学ぶ。 画像のデジタル化の仕組みと、解像度と階調と画質の関係を理解する。 図形のデジタル表現について理解する。 動画と立体のデジタル表現について学ぶ。 音声のデータ量を求めることができるようにする。 静止画・動画のデータ量を求めることができるようにする。 	提出課題と授業時の状況による。	6
11月	4章 コミュニケーションとネットワーク 1 発達の歴史 2 さまざまなコミュニケーション 3 ネットワークのコミュニケーション 1 ネットワークの特性 2 インターネットの仕組み 3 インターネットのサービス 4 転送速度とデータ圧縮	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩によるメディアの発達の歴史について理解する。 メディアの変遷によるメリット・デメリットについて理解する。 発信者と受信者の人数・位置関係によるコミュニケーションの分類の理解。 同期・非同期によるコミュニケーションの分類について理解する。 電子メールなどを利用したコミュニケーションと留意点について学ぶ。 コミュニケーションを行う時のプロトコルについて学ぶ。 TCP/IPについて理解する。 クライアントサーバシステムについて学ぶ。 IPアドレスやドメインについて学び、実習でIPアドレスを確かめる。 	実技試験と提出課題及び授業時の状況による。	8
12月	1 情報セキュリティ技術 2 情報セキュリティポリシー	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータウイルスの種類や被害の状況、及びその対策について理解する。 共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式について理解する。 デジタル署名、アクセス制御などセキュリティ技術の方法について理解する。 情報のフィルタリングについて理解する。 	定期考査の結果と提出課題による。	5
1月	5章 情報社会と問題解決 1 社会における情報システム 2 人に優しい情報システム 3 情報社会の課題	<ul style="list-style-type: none"> 座席予約、POSなど身近な情報システムの仕組みと働きについて学ぶ。 ユーザインタフェースの工夫やアクセシビリティについて事例で学ぶ。 情報の受け手のことを考えた情報表現やユーザビリティの工夫について考える。 サイバー犯罪の種類と具体例を理解し、受信者のリスクや対策について考える。 	提出課題と授業時の状況による。	6
2月	1 問題解決の手順 2 問題解決の手法 3 アンケートの利用 4 問題解決の実践	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を理解する。 問題解決のための手段の選択について考える。 ブレインストーミング、KJ法などアイデアの収集と分類について学ぶ。 データの統計処理とグラフ化、及びグラフを利用した分析について学ぶ。 テキストマイニングなどテキストデータの分析方法について理解する。 実際に問題解決を行うことによって、問題の明確化、情報の収集・整理・分析の技術を上達させる。 	提出課題と授業時の状況による。	6
3月	1 最終課題の制作	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションソフトを使用した課題作成 	提出課題及び授業時の状況による。	5

令和3年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(1学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間	
1	4	・人間関係を築く	【演習】 ・より良い人間関係を築くために、自己理解と他者理解を深める。	ワークシート	2	
	5	・キャリア教育	【演習】 ・「ポートフォリオ」ガイダンス ・「スタディーサプリ」ガイダンス	ワークシート	2	
	6	・キャリア教育	【演習】 ・スタディーサプリ活用方法	スタディーサプリ	2	
		・支え合う社会 ・地域社会を築く	【演習】 ・探究活動の意義と方法	ワークシート	2	
	7	・学ぶことの意義	【演習】 ・上級学校訪問事前指導	ワークシート	2	
	8		【体験】 ・上級学校訪問	ワークシート	6	
	2	9		【演習】 ・上級学校訪問事後指導	ワークシート	1
			・文化の多様性 ・グローバル化が進展する社会に生きる	【演習】 ・TGG事前学習活動	ワークシート	1
10						
11			【体験】 ・TGGにおける異文化理解	活動を観察	6	
12		【演習】 ・TGG事後学習活動	ワークシート	2		
3	1	・支え合う社会 ・地域社会を築く	【体験】 ・清掃活動を通じての社会貢献	行動を観察	2	
	2		【演習】 ・地域清掃事後学習活動 ・探究活動ガイダンス	ワークシート ワークシート	1 1	
	3		【演習】 ・分野の基本的な知識習得 ・グループ形成 ・研究テーマの設定	課題設定 研究計画書	2 1 2	
配当時間 数の合計					35	

令和3年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(2学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	ガイダンス	探究活動の意義と方法	ワークシート	1
		探究活動①	グループでの探究課題の設定	ワークシート	2
	5	探究活動②	情報収集 (体験)	ワークシート・観察	2
	6	探究活動③	フィールドワーク事前指導	ワークシート	2
	7	キャリア教育①	ポートフォリオを記録する意義理解	観察	1
		キャリア教育②	科目選択説明会	観察	2
	8	探究活動④	フィールドワークを通じた他者理解 (体験)	ワークシート	6
	2	9	探究活動⑤	フィールドワークで学んだことに対する整理・分析	ワークシート
10		修学旅行を通じての学び	修学旅行の事前・事後の学習を通じ、旅行地の研究、平和学習、自然と人間との関わり等について学ばせる	ワークシート	4
11		キャリア教育③	自己の希望進路にあった科目選択	調査シート	2
12		探究活動⑥	探究活動のまとめ、表現	発表資料・レポート	2
		探究活動⑦	(体験) クラスでのプレゼンテーション (体験)	観察	2
3	1	キャリア教育④	代表生徒による発表 (体験)	観察	1
	2		進路実現に必要な情報の収集と整理	ワークシート	4
	3	キャリア教育⑤	スタディーサプリ入力	スタディーサプリ	2
配当時間数の合計					35

令和3年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(3学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1 学期	4 月	【1 学期テーマ】 「自己の進路の決定」 ・学校別進路説明会、相談会 ・上級学校の専攻分野の理解 ・AO・推薦入試説明会 ・「合格体験記」を読む ・オープンキャンパスへの参加 ・センター試験説明会 ・「志望動機」のまとめ	1. 前年度の学習を振り返るとともに、3 学年「総合」で何を学習するの かを理解させる。 2. 春休みのオープンキャンパスに参加した結果をまとめさせる。 3. 校内で進路部が行うAO・推薦入 試の説明会で情報収集をさせる。 4. 先輩はどのように考えて進路を決 めたかを考えさせる。 5. オープンキャンパス等を通じて上 級学校の専攻分野や志望校と自分との マッチングを考えさせる。 6. センター試験の仕組みを理解する 7. 希望進路の専攻分野についての志 望動機を文章としてまとめ、発表の準備 をさせる。	1. 学習内容を把握させる。 (思考・判断) 2. 学校見学の成果をまとめる。 (知識・理解) 3. 桜町の先輩がどのように AO等に取り組んだかを知る。 (知識・理解・思考・判断) 4. 過去の「合格体験記」等を 教材として、自己の希望進路 を実現するプロセスを学ぶ。 (興味・関心・態度及び知識・ 理解) 5. 上級学校訪問の個別相談 等で専攻分野や学校を十分理 解させる。 (知識・理解・意欲・態度) 6. センター試験を知る (知識・理解) 7. 「志望動機」の形でまとめ させる。 (思考・判断及び技能・表現)	1
	5 月				3
	6 月				4
	7 月				3
2 学期	9 月	【2 学期テーマ】 「社会人基礎力」の 養成 ・面接指導 ・小論文指導 ・「志望理由書」、 「自己申告書」の指 導 ・常識力の向上指導 ・学力の向上指導	左記の5 項目の指導項目を中心に生徒 一人一人の志望分野に応じて個別に指 導を行う。	生徒一人一人が、自己の興味・ 関心、適性・能力を理解し、自 己の進路実現に向かって具体的 な行動をとる際に、どの程 度主体的、能動的な行動をと っているかを把握、評価する。	3
	10 月				4
	11 月				4
	12 月				3
3 学期	1 月	【3 学期の総合テー マ】 「1 年間の学習のま とめ」	フリーターの問題点を調べ、働くこと の意義への理解を深めさせる。	フリーターの問題点、浪人の リスクと心構え等について理 解を深めさせる。 (思考・判断)	2
	2 月		自己の進路実現に関する1 年間の歩み を振り返り、成果と課題についてまと め、発表させる。その上で、高校3 年 間の自分の在り方、生き方を振り返り、 今後の課題を発見させる。	自分で調べたこと、考えてき たことが今の自分のあり方に 繋がっているということを実 感させ、さらに今後の人生で も、自ら情報を収集し考えて いくことを意識させる。 (思考・表現)	2
	3 月				1
配当時間 数の合計					30